

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和3年度(5年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 49, 事業名, 経営発達支援計画や事業継続力強化支援計画策定支援事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 事業振興部, 担当課名, 地域戦略課, 担当課長名, 伊藤健一, 施策コード, 7, 施策名, 関係機関との連携強化による課題解決力の向上

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

令和元年7月に小規模事業者支援法が改正され、これまでの金融・税務・労務といった基礎的経営改善から経営発達や災害リスクに対する伴走型支援が求められている。

2. 事業のねらい

商工会が市町村と共同で計画を策定することで、行政施策等との関連付けや商工会が担うべき役割が明確となることから計画の認定を支援する。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, -, R1, -, R2, B

オンラインによる個別相談会の開催や嘱託専門指導員の巡回による計画策定支援を行ったことで、商工会の計画認定につなげた。地域での商工会の役割を明確にしていくために、市町村が策定している商工業振興策と商工会の経営発達支援計画を連動させ、市町村と商工会が共同で事業者支援に取り組んでいく必要がある。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

未認定会の計画策定支援に加え、国が提供する地域経済分析システム「RESAS」を活用した地域経済の分析や、伴走型事業の好事例から効果的な需要開拓手法をモデル化するなど、地域や事業者により効果をもたらす計画実行手法を提案する。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 116 and 117 with detailed descriptions of support activities and their outcomes.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 116, 取組コード, 117, 取組コード, 指標名, 経営発達支援計画認定商工会数, 指標名, 事業継続力強化支援計画認定商工会数, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

県内小規模事業者は新型コロナの影響や頻発する災害など様々な経営危機を抱えており、それらに対応するためには、市町村と共同で計画を実行し、事業者支援を行っていかなくてはなりません。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

RESASを活用した地域経済分析による商工会地域の特色を踏まえた計画への提案を行い、より有効な計画策定支援を実施した。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

RESASの活用や市町村からの情報収集、オンラインによる個別相談会など、コストをかけずに計画策定支援を実施した。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

個別相談や地域経済分析を行い、効果的な計画策定支援を実施したことにより、商工会の計画認定につなげた。

3. 課題

未認定商工会への個別相談や地域経済分析を行うことにより、具体的なモデルプラン等の提案を行いながら申請を促す。

4. 今後の対応方針(改善点)

モデルプラン等の提案により確実な認定につながる支援を行う。